

広島大学大学院 先進理工系科学研究科

力石 真 准教授



広島大学大学院 先進理工系科学研究科
力石 真 准教授

専門分野

- ・社会基盤計画
- ・都市・交通計画
- ・リスク解析

キーワード

- ・交通行動分析
- ・次世代インフラ
- ・データ解析・調査論
- ・災害時交通マネジメント

TEL: 082-424-4693

E-mail: chikaraishim@hiroshima-u.ac.jp

Website: <https://home.hiroshima-u.ac.jp/~mkt682/>

■研究室の概要

本研究室は 2017 年 4 月に力石が現在のポストに着任した際にスタートし、今年で 6 年目を迎えます。研究室メンバーの約 2 割は主に土木系の学科から進学する日本人学生、残りの 8 割は主にアジア地域からの留学生であり、国際色豊かな研究室です。教員のももとの研究の関心は、生活・交通行動のより良い理解にあります。現在はそれを下敷きに研究対象を大きく広げています。

■研究テーマ

研究室の基礎研究テーマは、新たな生活・交通行動分析技術の開発です。発展的な離散選択モデルの開発や、社会ネットワーク上における社会的相互作用を表現するモデル開発、機械学習手法と交通行動分析手法の統合等に挑戦しています。例えば、活動参加を通じて社会ネットワークが拡大していく過程を記述するモデリング手法の開発を進めています(右図)。

また、これらの生活・交通行動分析技術を下敷きに、様々な応用研究を展開しています。具体的には、新たな交通需要と供給の双方のマネジメントを効率的に実施するための ICT アーキテクチャの検討、災害時の政策決定支援のためのビッグデータ解析枠組みの検討、知識創造社会におけるネットワーク資本形成過程の解明などを通じて、次世代の都市・交通インフラの輪郭をできる限りクリアにすることを志向した研究に取り組んでいます。特に平成 30 年 7 月豪雨の被災地にある大学の研究室として、土砂災害を対象とした次世代の災害時交通マネジメントの在り方について重点的に研究を行っています。

■研究室の運営方針

本研究室の特徴は、生活・交通行動分析に係る方法的枠組みをメンバー間で共有しつつも、国内から海外まで様々なフィールドを対象に、様々な国籍・考え方の学生が集まって研究活動を行っている点にあります。日本にいなながらも、多様な考え方を受け入れる思考 OS を持つことの重要性を身をもって体感できる場として機能することを目指し、研究室を運営しています。研究室自体が、多様な考え方がブールされたときに時折創発する新しいものの見方を獲得するための次世代インフラとして機能するよう、ますます精力的に研究・教育活動を行っていきたくと考えています。引き続きご指導等、よろしくお願いたします。

